

2018年度協定留学プログラム
派遣学生留学状況報告書

非公開希望	項目	内容
	所 属	文学部 ドイツ語圏文化学科 3年（留学年次） 4年（帰国年次）
原則 公開	留学先	※大学名、学部、学科名を記入してください。 ザルツブルク大学 文化社会学部
原則 公開	留学期間	※実際の留学期間（留学先での授業期間）を記入してください。 2018年 7月 30日 ～ 2019年 9月 1日 出国日 2018年 9月 11日 最終帰国日 2018年 7月 9日

留学の状況について、各項目について書いてください（合計1,500字以上）。これから海外留学をする学生にとって貴重な情報となりますので、なるべく詳細な記述をお願いします。

1. 留学全般について

(1) 留学当初の所感（第1・2回目報告書記載）について、自己評価や、留学前からの意識の変化等

留学を終えても自分の語学力はまだまだだな、と感じています。もちろん留学前に比べればドイツ語はかなり上達しましたが、学術的な話をするときには苦労しますし、独・墺人が通常のテンポで話されると理解が大変です。

一方で旅行や現地での生活を通じて視野は広がったと感じます。留学に行く前はリヒテンシュタインを調べよう、としか考えてなかったですが留学中にオーストリアやドイツなど他の国の歴史についても興味が出て、実際に出来事の起こった現場を見に行ったり旅行中に気になった建物などを家に帰ってドイツ語でしらべたりといったことを週末や休暇にしていますがこれは日本ではできないですし本当に楽しかったです。

卒論の資料集めも、卒論を書くには今一歩足りないとも思いますが、事前調査としては十分だったと思います。資料を読むのには苦戦しましたが、今後は資料の情報をもとに具体的なテーマを決めていきたいと思っていますし、その情報は十分集められたと思います。

(2) 留学前にもっと準備をしておけばよかったと感じること

特に英語ですが、もっと準備しておくべきだったのは日常会話の勉強だと思います。英語なのは寮での日常会話がほぼ英語だからなのですが、日常会話は辞書を調べても出てくる表現があまりなく会話中なので辞書で調べている暇もないので、知らない表現を勉強するのが大変でした。あらかじめよく使うフレーズだけでも勉強していくべきだったというのは反省点です。

2. 留学先大学について

(1) 留学先大学の授業や教授等についての印象や感想

留学中は講義しかとりませんでした。講義でも外国人留学生を集めて勉強状況を聞いてくれる教授もいて大変良かったと思います。授業自体は学生が積極的に質問し、教授もジョークで明るい授業を作っていたのが印象的でしたが、学生は方言でしゃべるし教授も話すスピードが速いので理解するのが難しかったです。授業の進め方自体は日本と変わるところは特にないと思います。

(2) 留学先大学のキャンパスや施設についての印象や感想

ザルツブルク大学はキャンパスがないので各施設が町に散らばっています。留学すると最初に学生課に書類を提出し、それからアドミッションオフィスに学生証を作りに行かなくてはいけないのですが、アドミッションオフィスのほうが閉館時間が早く、遅めに行った自分は翌日出直すことになってしまったことがありました。施設は少し古いものの一部校舎や図書館にはクーラーもあり問題ないですが各施設の開館時間と、移動時間には注意が必要だと思います。あと大学本部裏手には自然科学学部保有の植物園と池、それから広い丘があるので散策にお勧めです。

(3) 留学先大学の留学生に対するサポート体制について

語学面：留学生を対象とした語学補習講座のようなものが授業として或いは授業外で開講されているかどうか、また開講されている場合は、その時間数や内容、費用等について書いてください。

ドイツ語の語学講座は大学のドイツ文学科と語学センターの両方で開講されています。文学科のほうは週4～2コマ（語学レベルによって異なる）で、1学期120ユーロ。一方語学センターのほうは週に2コマで1セメスター50ユーロです。語学センターではもちろん英語の語学コースもあります。こちらも語学コース開講科目の一つなので費用、コマ数はドイツ語と変わりません。

留学始めのオリエンテーション期間にもドイツ語の語学コースが用意されていてこちらは40ユーロです。これはオリエンテーションのある一週間毎日1コマずつあります。

生活面：生活面のサポートや留学生向けのイベントについて書いてください。

大学のサポートとしてはバディの仲介があります。他には大学が運営するタンデムパートナー探しのHPがあって、そこで自分の情報を入力するとタンデムを探している人一覧が表示されるのでそこでタンデムパートナーを探すことができます。

イベントとしてはÖHというオーストリアの学生団体が大学施設で開くパーティーが毎学期あり、そこに行けば友達ができやすいと思います。学生団体ではありませんが、寮でパーティーがあったりするのでそこに行ってみてもよいかもしれません。

資金面：現地で得られる奨学金等の情報があれば書いてください。

特に聞いたことはありません。ERASMUS、交換留学生にはないのではないかと思います。

(4) 留学先大学周辺の治安について書いてください。

大学周辺といっても校舎の位置によって違うかもしれませんが、旧市街や大学本部のある南側は特に問題ないと思います。とはいえ特に旧市街は観光客が多くスリにあった留学生もいるのでスリなど軽犯罪には気を付けたほうが良いです。どちらの地域も地元の人がのんびり散歩しているような地域ですが、酔っ払いや不審者を時々見かけたので警戒は怠らないほうが良いです。

(5) その他留学先大学についての印象や感想があれば書いてください。

授業で寝る人はいませんでしたが、意外と雨の日や学期途中には受講者が減っていたので、日本と変わらない面もあるのだなあと感じました。

あと建物入口に灰皿があって周りでみんなタバコを吸ってる・・・という校舎もあるのでタバコが苦手な人は注意した方が良いでしょう

(6) 留学先での履修科目等

※本学での単位認定に関係なく、①に派遣先で履修した科目名をすべて記入してください。単位が認定された場合は、その科目の②に本学での科目名を記入してください。行は適宜追加してください。

※成績証明書を添付してください。

①留学先での履修科目名 (単位数)	②本学で単位認定された科目名 (単位数)
Deutsch als Fremdsprache (mittelstufe)	
History of china	
Politics, history and culture Austria 20th and 21 st century	
Grundlagen der Mittelalterlichen Geschichte	
Österreich von 1918 bis 2018: Geschichte und Gedenken	

3. 宿舎について

(1) 種類

大学の寮 / アパート / ホームステイ / その他 ()

(2) 家賃

月額 (現地通貨) 約 365 ユーロ 、 (日本円) 約 44000 円

(3) 食事

食事付き (朝・昼・夕) / 自炊 / その他 ()

(4) 大学までの交通手段、所要時間

徒歩 / 自転車 / バス / 地下鉄 / その他 ()、計 15 分

(5) 感想、良かった点・悪かった点

自転車ならいいですが、バスだとバス停まで10分ほどかかり、そこからバスを待たなくてはいけないので所要時間が自転車の倍近くかかります。新市街の寮とかにすれば校舎によっては徒歩で通えるのですが。

とはいえ、寮内に基本的な設備はそろってましたし、キッチンは共用なので、一人部屋で

もキッチンで他の人とコミュニケーションが取れるのが良かったです。

4. 費用について

(1) 学 費

(現地通貨) 約 0 、(日本円) 約 0 円 (ただし ÖH の会員費用として1 学期 70 ユーロ、約 8400 円の支払いがあります)

(2) 渡航方法と金額

~~飛行機~~ / 船舶 / その他 ()、(日本円) 約 12 万 円

(3) 生活費

(現地通貨) 月額・年額 約 500 ユーロ 、(日本円) 約 62000 円

※ 宿舍費を含めた金額を記入してください。

(4) 費用の持参方法

国際ブランドプリペイドカード / ~~クレジットカード~~ / ~~現金~~ / ~~その他~~ (銀行振り込み)

⇒ その方法についての感想、良かった点・悪かった点

銀行振り込みは現地で直接 ATM から引き出せるし大学への振り込みも自分で行えるので便利でした。ただ送金手数料が高いです。クレジットカードが一番便利ですが現地の ATM ではお金が引き出せないことがあるので現金が必要なときには困りました。

(5) 「学習院大学海外留学奨学金」を受給した場合、その主な支出内容と金額の内訳

ジェイアイ損保 127000 円

バス定期券：15000 円 (冬季はバスで通学していたため)

語学コース費用：29000 円 (1 学期 120 ユーロで2 学期間受講)

現地での健康保険 (SGKK) 10 カ月 62000 円 (500 ユーロ)

リヒテンシュタインへの交通費：21000 円 (1 回の交通費が往復 7000 円ほどなので3 回分)

リヒテンシュタイン家の所有していた宮殿や城を見に行くためのウィーンへの交通費：5000 円 (往復 46 ユーロ)

パリ航空ショー旅費：27000 円 航空券 15000 円 ホテル代 10000 円 航空ショー入場料 2000 円

ASDA (クロアチア)、IDET (チェコ) 各見本市への旅費：21700 円 内訳：交通費：15000 円 (130 ユーロ) 宿泊代 6700 円 (チェコのみ)

本：

語学コース教科書：7200 円 (60 ユーロ 学期ごと 30 ユーロづつ)

(卒論に向けた調査用)

Die Regierenden Fürsten von Liechtenstein 1200 円 (10 ユーロ)

Jahrbuch des Historischen Vereins für Fürstentum Liechtenstein Band 90 6200 円 (50 ユーロ)

(オーストリアの文学作品)

Radetzky Marsch

5. 保険について

(1) 保険会社名 SGKK

(2) 保険料 59.57 ユーロ
6200 円

(3) 加入した保険の種類、内容
病院での無料診療

(4) 感想、良かった点・悪かった点

つかうことがなかったのでよくわかりません

ただこれは在留申請取得の際に加入が義務付けられた健康保険なので、到着直後や旅行、帰国前のためにジェイアイ損害火災保険の海外旅行保険（1年間で127800円）にも加入していました。ただこちらを使うことがなかったので良かった点とかはわかりません。

6. 荷物について

(1) 荷物の送付方法

手荷物／船便／SAL 便／航空便／海外宅配便／その他（ ）

(2) 持って行って良かったと思う物

文法書、日本のお土産（お菓子）、風邪や腹痛用の薬、コンセント口変換器、Wifi 機器

(3) 持って行く必要が無かったと思う物

変圧器（大体の機器は海外電圧に対応しているため）

(4) 持って行けば良かったと思う物

虫刺されの薬

7. 平日および週末の平均的な過ごし方

(1) 平日

午前は大学に行ってお昼に一度家に帰り、昼食を作って午後は授業がなければのんびりしたり、文献を読んだりしていました。夜はキッチンで居合わせた他の学生と食事をしていました。

(2) 週末

週末は大体家で本を読んだりしていましたが、自転車で付近を走って気になった建物を寮へ帰ってドイツ語でしらべる、ということをしたり、時々週末に日帰りでリヒテンシュタインへ行って現地の図書館に行ったりもしていました。長期休暇はイギリス、ウクライナ、チェコなどへ旅行をしていました。

8. 後輩へのアドバイス等

留学にはやはりテーマがあった方が良いと思います。私は友達付き合いが得意ではなかったのでザルツブルクで知り合った友達と旅行に行ったりパーティーしたりとかはあまりしませんでした。歴史が好きだったので一人で旅行して行った土地について調べたり、あと航空機も好きだったので航空ショーを訪ねたりしていました。ヨーロッパは古い制度や建物が多いので、歴史をテーマにすると現代とのつながりを感じられて楽しかったです。そういった何かテーマがあると留学がより充実すると思います。

9. その他、雑感や要望など書きたいことがある場合は自由に書いてください。

留学中によく、日本だったらどうなの、とか日本とこちらとの違いは、とか聞かれるのである程度日本について説明できたらよいかもしれません。それから、8で自分は友達付き合いが・・・と書きましたが、人間何語をしゃべろうと性格はすぐには変わらないし外国で住む分少なからずストレスは増えるので無理せず楽しめるものを探す、というのは（曇り空の増える冬は特に）大切ではないかと思います。